

(様式第8号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2024年4月30日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者 所在地 長野県飯山市大字木島974-1

団体名 特定非営利活動法人ぱーむぼいす

代表者 職・氏名 理事長 池田 剛

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

日中の学習・生活支援「日なた」

2 助成対象事業の実施期間

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

3 助成対象事業の内容

長野県中野市で不登校状態にあり、家以外に居場所、学ぶ場所がない小中学生を対象に日中の学習・生活支援所「日なた」を開設。

職員の数・来所時間数の増加により、週4日、6時間の開室を実現。

4 事業の成果

- ・小学生14名、中学生24名、計38名の利用者を受け入れることができた。
- ・職員3名増加により、計7名の雇用を保証。
- ・日なた利用を通し、利用者の表情が明るくなったり、学校復帰を果たした子や、中学3年生は全員、高校進学を叶えた。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類（添付）

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類

助成対象事業収支計算書

※下記報告書の裏付けとして、領収書のコピーを添付してください

区 分		金額 (円)	内 訳	
収 入	① 本助成金	521,165		
	② 自己資金	1249527	自己資金	
	会費、事業収入、 寄付金など			
	③ その他 補助金等	3867000	独立行政法人福祉医療機構 補助金	
収入合計		5637692	(A)	
支 出	助成対象経費	人件費	210000	専門的支援員 (1050円×5時間×40週)
		人件費	210000	専門的支援員 (1050円×5時間×40週)
		人件費	101165	専門的支援員 (1050円×2.5時間×40週) 不足分は自己資金より補填
		計	521165	(B)
	助成対象外経費	人件費	2786507	
		会場費	960000	
		光熱水費	142097	
通信費		307283		
交通費		211648		
消耗品費		704890		
雑費		4102		
計	5116527	(C)		
支出合計		5637692	(B) + (C) = (A)	

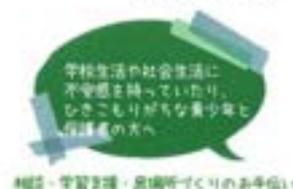
事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物（チラシ・リーフレット等）がある場合には、別途送付してください。



日なた



学校は行かないけれど居場所がほしい小中学生にばーむぼいすが提供する日中の居場所です。

安心して通えて、学習や活動に取り組める、みんなが安心して過ごせる場所です。

特徴

- 支援員と一緒に基本となる日課を設定します。
- 学習面はもちろんのこと、生活習慣の見直し・情緒面・集団生活についての相談ができ、指導もしてもらえます。
- 学校復帰を含めた社会的自立に向けて、個々に応じた支援が受けられます。
- 利用時間や内容は、相談員・支援員と相談して決めます。
- 学校や中野市と連携しているので安心です。
- 一人で通うことができないときは、送迎もしてもらえます。

対象者

不登校の状態にあるが、中野市の中間教室を利用していない児童生徒。
自分から日なたに通いたいと思っている・保護者の理解が得られている・ばーむぼいすの相談を受けていて学校や市と連携が取れていることが条件です。

利用料

利用者負担はありません。必要な経費はばーむぼいすが全額負担します。
ただし、送迎を希望する場合は、送迎費が必要となります。

開 室

月曜日～木曜日 9:30～15:30 (小中学校の長期休業中はお休みになります)

住 所

〒383-0045
中野市江部775-33
電話・FAX 0269-22-7370

お問い合わせ

相談担当 清水 美鶴
電話 080-1336-6243
メール palm.hinata2023@gmail.com

地域探検隊

お休みの日に、異年齢が集まる非日常の楽しい体験を用意しました。

対象者 小学生・中学生
費用 実費 (金額はプログラムによって違います)

★参加には保護者の賛助会員登録が必要です。会費は年8,000円です。

★プログラム実施に伴うけがなどの傷害については法人の加入する保険の範囲内での補償となります。

令和5年度プログラム(予定)

8月6日(日曜日) デイキャンプ

11月19日(日曜日) 焼き芋

3月24日(日曜日) 卒業イベント

会場 日なた

※詳細については担当者にお問い合わせください。

お問い合わせ

担当 池田 剛
メール ikedada2001@yahoo.co.jp

***** 振り返りと今後の重点 *****

令和5年度事業実施方針

「子ども・若者の社会的自立に向けた出口戦略の構築、整備」

◎相談事業

- ☆小学生、中学生とも相談が増加。高校生世代への学習・生活支援だけでなく、小中学生に対する日中の学習・生活支援に対するニーズも増加している。
- ☆福祉部局、子ども部局、教育委員会と連携した支援を一層緊密に進めていく。

◎学習支援事業

（さくら国際高校北信キャンパス・飯山学習センター・須坂キャンパス）

- ☆安全で安心して学べる学習空間の確保、個別最適な学び、合理的配慮、個に応じた教科指導・生活指導研究など各教室の生徒の様子に合わせた独自の取り組みが進んでいる。
- ☆中学校との連携が強化され、受け入れ前から支援ができるようになった。そのため生徒も入学前に準備する余裕ができ、安心して高校生活をスタートしている。
- ☆令和6年度の職員採用に向けて資金、体制の準備を進めた。

◎家庭学習支援事業

- ☆個に応じて力をつける学習支援の研究を実施。
- ☆低学年のニーズが増加しているため、その子どもの発達課題を見極め発達段階に応じた学習活動の研究を進めていく必要がある。

◎居場所支援事業

- ☆令和4年7月に中野市教育委員会、子ども課、福祉部局などと連携して不登校状態の児童生徒のための日中の学習・生活支援の場「日なた」を利用者負担なしで開室。利用者の増加に伴い、令和5年度から本格稼働とした。独立行政法人医療福祉機構の補助金を得て実施した。
- ☆中野市以外からの問い合わせが増加しているため、場所や時間、人員の確保について調査を進める。
- ☆資金の確保と、行政による制度化に向けた資料の蓄積・情報提供を行う。

◎就労準備支援「ほっぷ・すてっぷ JOB college」

- ☆協力企業開拓や実習材の提供について継続的に地域内外の企業から支援をいただいた。
- ☆実習材については地域の福祉事業所へのシェアも拡大。地域のさまざまな人への仕事提供につながっている。
- ☆日々継続して行われる活動の中で自己理解が進み、障害福祉サービスや福祉就労の利用を前向きに目指す研修生も出ている。福祉機関との連携を強め、つなぎの支援を実施し、多様な自己実現を保障できるようにしている。
- ☆自主商品の開発に取り組み、作業の種類や販売等、活動の多様化を進めた。（綿花の栽培・出荷、唐辛子、ドライリング等の販売）

◎進路指導の充実

- ☆進路指導の分担による企業開拓の効率化と情報収集力の向上を目指して取り組んできた。企業見学や体験などの取り組みも実施した。ニーズに応じて福祉事業所の調査も進める。

◎経営基盤の整備

- ☆人材確保に向けた情報の収集を行う。
- ☆職員の賃金向上に向けた資金確保を進め人材の確保を目指す。

行政とのタイアップ事業

困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業（長野県）
 中野市就労準備支援事業及び学習・生活支援事業（中野市）
 飯山市就労準備支援事業及び学習・生活支援事業（飯山市）
 地域自殺対策強化事業若年者相談窓口設置業務（飯山市）
 木島平村不登校児童・生徒支援事業（木島平村）
 信州パーソナル・サポート事業（生活困難家庭の子どもに対する学習支援・生活支援）（長野県）

NPO法人ぱーむぽいす 令和5年度 年次報告



皆さまにご協力いただき令和5年度もさまざまな活動ができました。
 感謝の意を込め、ここにご報告申し上げます。（令和6年5月）

目次

◎理事長あいさつ	1
◎各事業部活動報告	
相談事業	2
居場所支援事業	3
学習支援事業	4
高校生世代学習・生活支援事業	5
就労準備支援事業	6
◎振り返りと今後の重点	7

ぱーむぽいす関連施設

法人本部（事務局）	〒389-2234	飯山市大字木島字向田974-1	電話・FAX 0269-67-0415
居場所支援 日なた	〒383-0045	中野市江部775-33	電話・FAX 0269-23-7370
学習支援 飯山教室	〒389-2234	飯山市木島字向田978-1	
西条教室	〒383-0042	中野市西条836-2	
木島平教室	〒389-2301	下高井郡木島平村穂高3108-2	
北信キャンパス	〒383-0042	中野市西条836-2	電話・FAX 0269-38-0183
須坂キャンパス	〒382-0003	須坂市旭ヶ丘6-42	電話・FAX 026-285-0450
飯山学習センター	〒389-2234	飯山市大字木島字向田978-1	電話・FAX 0269-67-0415
ジョブカレ飯山	〒389-2234	飯山市大字木島974-1	電話・FAX 0269-67-0415
ジョブカレ中野	〒383-0042	中野市中央1-4-19 長野県中野庁舎1階	電話 0269-38-1155 FAX 0269-38-1156

ホームページ
<https://palmvoice.jimdo.com/>



賛助会員を募集しています！

寄付も大歓迎です。法人の活動に賛同していただける方はご協力よろしくお願いします。
 賛助会員 会費 年々 6,000円
 寄付 一口 1,000円（何口でもOK）
 振込先 ゆうちょ銀行
 〇五九 当座 0048919
 NPO法人ぱーむぽいす

就労準備支援事業

「2023年度 日本郵便年賀状付金助成事業」として日本郵便さまのご支援をいただき、就労を目指す若者と仕事を求める地域の福祉サービス事業所に仕事を運搬ワゴン車の運行（通年）を行いました。事業へのご賛同・ご支援、本当にありがとうございました。

ジョブカレ利用者 22名 就労4名（就労継続支援者含む）

ジョブカレ飯山では以前からの実習用の内職作業に加え、新たな仕事の開拓を行うことができました。飯山市で収穫された綿のごみ・種取りをし、兵庫県の綿専門店に出荷を始めました。またボルト組込みの内職実習を中心に、仕事を必要としている地域の若者や、障害を持った方のための事業所とも仕事のシェアを継続しています。近年の傾向として自宅実習のニーズが高まっており、週に1回、2〜3箱を仕上げて納品しにくる研修生が増えました。他には福祉サービス利用を視野に入れる研修生も出てきています。

ジョブカレ中野では、研修生がジョブカレに通うことで働く練習につなげています。個別相談から、週または隔週1回の通所で内職作業を1箱仕上げることから始めて、徐々に日数や量を増やし働く体力づくりをしています。

支援を必要とする若者たちの自己実現に向けた様々なサポートの持続的な事業運営が一層望まれています。



ボルト組込み作業
竹内製作所 重機模型と共に



ジョブカレ中野の様子



綿のごみ・種取り

ジョブカレ飯山

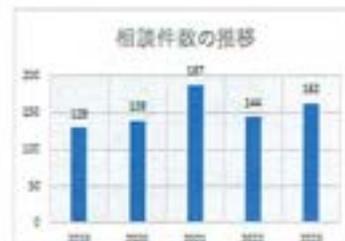
- 開設 毎週月〜金 午前9時〜午後3時
内容 藤竹内製作所 ボルトの座金組込み
藤ミナミサワ 自動水栓パーツ組立
ぬいいやま 体験・実習受け入れ
樹玉水新織 綿のごみ・種取り
利用者 12名（自宅実習生・短期実習生等含む）
就 労 2名（就労継続支援者含む）
特徴
①豊富な活動量
○内職教材、荷下ろし・整理などの共同作業
○農業実習、鹿草作成
②きめ細やかな支援
○ハローワーク同行支援、
○福祉機関へのコーディネート、見学同行
○電話の受け答えの指導・練習、
○自力通所に向けた送迎・自転車貸し出し
③スモールステップ
○作業量の調節、作業や実習の見通し

ジョブカレ中野

- 開設 毎週火〜金 午前9時〜午後3時
内容 藤竹内製作所 ボルトの座金組込み
利用者 10名（自宅実習生・短期実習生等含む）
就 労 2名（就労継続支援者含む）
特徴
①アクセスの良い静かな環境
信州中野駅より徒歩圏内
②きめ細やかな支援
○通勤練習（公共交通機関の切符の買い方・乗り方やマナー等の指導）
○電話の受け答えの指導
○職場にふさわしい身なりやマナー等の指導
③スモールステップ
○作業量の調節、作業や実習の見通し

相談事業

相談件数・出席会議数（ ）内は長野市・須坂市関係
相談件数 162 (34)
関係機関を交えた支援会議 57 (25)
学校での会議 150 (2)
まいさば会議 まいさば中野10 (1) まいさば飯山11
中野市スクリーニング会議 10 (85年度新)
中野市登校支援関係者会議 7 (85年度新)
LINE及びメール、電話での相談が増加
関係機関や職員からの相談が増加



昨年度に比べて相談件数は増えています。特に精神疾患・発達障害、またはその傾向にある子どもがクラスや学校という集団になじめず、登校できなくなったり、家に引きこもってしまうケースが散見されます。そのことを苦しく感じている子どもがいて、そんなわが子に対してどうしたらいいのか悩んでいる保護者がいます。また、学校に相談してもなかなか先が見えずに不安を抱えている保護者もいます。たくさんの方がいろいろな思いを持って相談に来られます。

私たちが一人ひとりに時間をかけて相談をさせていただいています。私たちの精いっぱい知識や経験をもとにお話しさせていただき、親子ともに少しでも前へ、少しでも希望を持てるようになればと考えてながら対応しています。

相談後も私たちのところで止めるわけではありません。学校とも連絡を取り合い、必要であれば行政や他団体につなげることも多々あります。地域差はありますが、連携が進んでいる地域では一つの案件に各関係機関でチームになり取り組んでいます。昨年度から日なたが本格的に始動したこともあり、今年度は支援会議や関係者会議への参加も増え、新たな会議に参加する機会も得ました。

まだまだ課題は山積していますが、つながるべくしてつながった方には、持てる力を尽くして向き合っていきたいと思っています。

相談員1年生



今年度より相談員に加わり、主に須坂市、長野市方面を担当しています。少し前から先輩に付いて相談のノウハウ、行政・他団体へのつながり方などいろいろなことを学びました。そして、今年度より本格的に一人で相談を行っています。

しかし、いざ自分で相談を受けてみるとうまくいかないことばかりです。「話してみよう」「何か進展があるかも」と、いろいろな思いを持って相談に来られる方に対して、私に何かできることはあるのだろうかと思ひは尽きません。ことに連携という面ではまだまだスムーズにいかないことも多く、自分の力のなさを感じる毎日です。

相談に来られたお母さんたちは自分の子どもの悩みをたくさん話してくれます。話の途中で泣いてしまう方も少なくありません。その方たちから、「話を聞いてくれてありがとうございました」「もっと早くこへ来れば良かった」「今日は少しだけ子どもに優しい気持ちで向き合えそうです」などの言葉をいただきます。どれだけこの方は苦しんでいたのだろうか、今まで受け入れてもらえる場所はなかったのだろうか、いろいろなことが頭をめぐります。でも、まだ経験も少ない私にできることは、目の前の方の言葉や思いをしっかり受け止め、寄り添うことぐらいです。まずはここから始めようと思います。

自分自身の頭の中の引き出しをもっと増やそう。経験し、情報を仕入れよう。そして相談に来られた方が「何か一つでもお土産を持って帰れるように」しよう。これは先輩に教えていただいた大切な言葉です。お土産はアドバイスでも、安心でも、前向きな気持ちでもいい、何か持って帰ってほしい。まだまだ駆け出しの私ですが、そんな決意を持って、悩んでいる子どもたちのためにできる限りの力を注いでいきたいと思っています。

(相談員 森山仁美)

居場所支援事業

「日なた」今年度の活動

利用者数	小学生14名 中学生24名 合計38名
職員数	室長1名 支援者3名 学習支援者2名 送迎支援者1名 合計7名
開室日	月曜日～木曜日 午前9時～午後3時 長期休業中は閉室
利用状況	週1日・1時間から週3日・6時間まで 個々に応じた対応
活動内容	①卓球・パトミニントン ②体操 ③川釣り・魚取り ④工作 ⑤陶芸 ⑥調理 ⑦プール ⑧射的 ⑨プラレール ⑩ラジコン ⑪ミニ四駆 ⑫レジン ⑬ネイル ⑭イラスト ⑮油絵 ⑯学習(算数・数学・英語) ⑰内職作業 ⑱井戸掘り ⑲野外調理 ⑳イベント(夏祭り・焼き芋、クリスマス会)

令和5年度日なた利用者アンケート

2022年7月から日なたを立ち上げ、2024年3月まで約1年半、日なたへ来る子どもたちと夢中に過ごしてきました。日々変わっていく子どもたちの姿に元気をもらっていましたが、利用している保護者は日なたに対してどんな感想を持ち、日なたにどんな思いがあるのか、なかなか知る機会がありませんでした。そこで、年度末に日なたを利用している子どもの保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

(アンケート結果の詳細についてはホームページに掲載しています)



◎保護者アンケート結果から

子どもの変化については、「表情が明るくなった」「よく笑うようになった」「会話が増えた」等、子どもたちがいい方向に変わっているという回答が多く見られました。実際に登校する日が増えた子もいます。学校復帰を果たした子もいます。

また、学校の対応に関しては「学校へ来るように促されなくなった」「家庭訪問や電話連絡をしにくくなるようになった」「支援会議を開いてくれるようになった」等、親としてはうれしい変化があったようです。「日なたの先生が支援会議で親や子どもの気持ちを分かりやすく伝えてくれたので、学校が分かってくれようになった」という回答もありました。

日なたの良い点としては、「無料で利用できる」「登校扱いになる」「送迎がある」「親に寄り添って話を聞いてくれる」等、日なたへの要望としては「日なたの活動を長く継続してほしい」「日数を増やしたいなどの要望に対応してほしい」「保護者同士で話す機会がほしい」等の回答がありました。

◎来年度に向けて

保護者アンケートの結果も踏まえて、来年度も今年度の形を継続していきたいと思えます。学校との連絡をより密にして子どもの様子を共有し、支援会議を定期的に関係してもらおうように働きかけ、その支援会議で子どもたちの成長や伸ばしたい力を共有できればと思っています。また、利用日数や時間は利用者の要望にできるだけ応え、保護者同士のコミュニケーションの場も検討していきたいと考えています。



支援者から

来たばかりの時は暗い表情の子が、日なたでの日数を重ねていく中で明るくなり、会話も増えていく様子を見るのは私たち支援者にとって一番の喜びです。人と関わることでトラブルもありますが、その対応の仕方を学んでいく姿に成長を感じます。

この1年、学習の前に必要な力があることや、学習に向かう前のエネルギーが必要なことも、子どもたちの姿から学ぶことができました。子供たちにとって日なたが「安心できる場所・やりたいことに挑戦できる場所・楽しい経験をする場所」になってほしい、それが私たちの一番の願いです。

高校生世代学習・生活支援事業

ブログ ばーむばいす活動報告



北信キャンパス

かき米はじめました(2023.6.27)

北信キャンパスでは、楽しい活動を増やしたいと思っています。

そこで、学年関係なく、その日登校していたメンバーに声をかけ、たこ焼きを作ったり、もんじゃ焼きを作ったりしてきました。

そして、この暑い夏を乗り切るため、かき米を始めました。

かき米を食べて、暑い夏も頑張っていきます!



体育祭の様子(2023.11.2)

今年度も、北信、須坂、飯山合同の体育祭が行われました。

1年生は、初めての体育祭。緊張しながらも、仲間と協力して楽しむ姿が見られました。

2年生は、3教室とも人数が多いので、とても賑やかな雰囲気でした。

3年生は、最後の体育祭。勝利に向けて、やる気に満ちていました。

最後に、今年は先生たちも参加、盛り上がりました!!



飯山学習センター

新入生歓迎会、会食会(2023.5.20)

4月、4名の入学生を迎えました。約1か月後の5月10日、新入生歓迎会、会食会を行いました。

席では豚汁を大きな釜で煮込み、校舎内でおにぎり作りをして外で会食会を行いました。おにぎり、豚汁、バナナでした。それぞれおいしくいただきました。



冬の風物詩(2024.1.31)

飯山学習センターでの活動に、雪との関わりは欠かせません。今年は本格的な雪かきの機会は少なそうですが、屋根に雪が積もったので雪下ろしをしました。

他にも午後活動として倉庫裏の仕分け作業や掃のごみ取りも行いました。2月にある後期試験の準備も必要で、僕たしいですが、しっかりとやるべきことに取り組みました。



須坂キャンパス

悩みと希望(2023.7.21)

梅雨空の中、太陽がキラキラと照りつける目が増えていきます。

須坂キャンパスの3年生も自分の進路を考えて動いている最中です。専門学校の内定をいただいた生徒、ままだこの専門学校にしようか悩んでいる生徒。

もちろん就職希望の生徒も少しずつ動いています。アルバイトを増やしている生徒、これからアルバイトを始める生徒、みんなが次のステージに向かって頑張っています。

この夏休みにまた一段階成長した3年生になっていることを願っています。一步一步、少しずつ、自分のペースで将来やりたい自分を磨いていけるといいな☆と思います。

頑張れ!3年生!!

1、2年生も夏休みに挑戦をする機会にしてほしいな...と願うばかりです。



進路研修とお楽しみ会♪(2023.11.20)

11月はイベントがいっぱい!

1年生と2年生の進路研修や4年ぶりのお楽しみ会。ジョブトレで稼いだお金で豚汁とおにぎり、給カステラをみんなで作って楽しみました。

コロナ禍でなかなか学年の垣根を越えた活動が難しくなったのですが、今年度は行うことができよかったです。



理事長あいさつ

令和5年度の年次報告発行にあたってごあいさつ申し上げます。

長野県における不登校状態の児童生徒の現状は、当事者や保護者、学校や地域にとって深刻な問題であり、その解決に向けた取り組みが喫緊の課題となっています。また近年では多様な学びの場づくりが注目され、個々のニーズに合わせた支援が求められています。

長野県では、このような課題についてさまざまな取り組みが展開されています。そのような状況の中で、ばいむびいすも新たな居場所支援事業として「日なた」を開設し、不登校状態にある小中学生の日中の学習や生活支援に取り組んでまいりました。

日なたは、児童生徒が日中に安心して過ごせる場所を提供し、学びや生活の基盤を築くための支援を行います。子どものニーズに即した柔軟な支援が提供されることで、不登校児童生徒の学習意欲の向上や社会への参加意欲の促進が期待されています。

また、日なたが提供する学習支援や生活支援は、地域社会における教育の均衡発展、学習権の保障に寄与し、将来の社会的貢献を担う人材の育成にもつながると考えています。

今後ばいむびいすでは、日なたをはじめとするさ

まざまな取り組みを進め、子どもたちにとってより良い未来を築くために邁進してまいります。そのためには地域の皆さまや関係機関、行政、教育委員会などのご協力が今まで以上に必要となります。これまでの皆さまの温かいご理解とご支援に感謝申し上げますとともに、今後もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度には下記のとおり皆さまから、助成や実習材料提供等のご支援をいただきました。皆さまのご厚意によりさまざまな事業を行うことができました。心より御礼申し上げます。

ご支援をいただいた皆さま

○独立行政法人福祉医療機構

「令和4年度(補正予算)社会福祉振興助成事業」

○2023年度日本郵便

「年賀寄付金助成事業」

○三菱UFJ信託銀行

「かけはし信託受託基金」

○株式会社竹内製作所

○株式会社ミナミサワ



(理事長 池田 剛)

新しい試み——多様な作業活動を開発しています——

☆綿の出荷

栽培・収穫から出荷まで、高校生を中心とした青少年が関わっています。綿花栽培と収穫は飯山学習センターが担当し、綿摘りは北信キャンパスや飯山学習センターで行います。そしてジョブカレや飯山学習センターで荷造り発送、納品をしています。

☆直売所への出荷

令和5年の秋から木島平村の直売所に商品を出荷しています。パッケージなどに工夫を凝らし、みんなで協力して作っています。

干しりんご

りんごのカットの形状ややわらかさなど、何度も試作を重ねて作りました。



蜜ろうとタカノヅメ

胸部でおちよこくらの入れ物を作り、蜜ろうを入れてロウソクにしたり、タカノヅメを入れておしゃれな飾りにしました。また、タカノヅメを細かく粉砕し、袋詰めして一輪唐辛子として販売しています。



学習支援事業

支援員 6名

利用者 40名

支援時間 841コマ (812.5時間)

(内 県学習支援 155時間 まいさぼ中野 64時間)

進路 中野西高校・中野立志部高校(定時制)・下高井農林高校・つくば開成高校・信州中央高等学院・さくら国際高校(北信キャンパス)

学校へ行くことに抵抗のある子や勉強につまずきを感じている子に、個々の特性に寄り添い、必要な個別支援をしてきました。楽しく過ごせるよう、おしゃべりの時間や動画学習を取り入れたケースもあれば、集中力の続かない子には、時間や問題数などで区切るやり方で飽きさせずに無難な作業ができる工夫をしました。また希望者には、長期休みに同じ時間・場所で勉強会を開講し、休み時間に利用者同士で交流するなど、学年や学校を超えたつながりをつくりました。

今年度も県や自治体、また多くの皆さまからの力強いご支援をいただけたことで、子供たちに必要な支援を提供することができました。心より感謝いたします。今後も子供たちの自立の一助となるよう尽力してまいります。

利用者のビフォー&アフター

Before	⇒	After
こんな児童生徒が	⇒	支援後こうなった
小学5年より始める。文字の読み書きが苦手。小学生の頃の学習時間は10分。残りの時間はおしゃべりや映像鑑賞。	⇒	中学生になり、ワークを一緒に解いたり、テストに向けて努力するようになった。無事に高校へ進学。
九九からつまづいていた。漢字も覚えられず書けない字もあった。	⇒	集中力がつき、漢字練習や社会のワークができるようになった。無事に高校へ進学。
低学年時不登校から特別支援学級に行けるようになった児童。学校行事へのイベントごとに「めんどくせえ」と愚痴っていた。	⇒	行事のことについて「面白えじゃん」と声掛けすると、後日行事に参加し、そのことで文句を言いながらもうれしそうな顔で報告。初めてみんなと一緒に活動する経験になった。
宿題などに嫌々取り組んでいた。	⇒	長期休みなどに課題に取り組む速度が速くなった。
支援館利用の生徒。課題を終わらせると真っ先にパソコンを使っていた。	⇒	別の学校の同学年の子の話をするとライバル意識を持ち、その子の勉強の速度を気にし、宿題以外の勉強にも意欲的に取り組むようになった。

利用者や保護者の声

○学校に行くのは嫌だけど、ばいむびいすには来たい。毎日でもここで良い。(小学6年)

○子供に合わせたサポートをして下さり感謝しています。(中学3年保護者)

○いつも子供に寄り添って学習してくださったり、話を聞いてくださり、本当にありがとうございます。帰りの車中では「また先生に教わったり会いたいなー」と言っていました。またお世話になる日が来たらその時はどうぞよろしくお願ひします。(小学6年保護者)